

令和3年 日野原重明記念新老人「滋賀の会」

講演会

「なぜ、滋賀が長寿日本一になったのか？その4」

基調講演「在宅看取りは如何に可能か」

趣意書

日野原重明先生が逝かれて4年近くが立ちました。超高齢化社会はさら進み、「子どもたちに平和と愛の大切さを伝えること」この先生の提言と実践はますます輝きを増しています。

私たちは表記のシリーズ講演会を開催してきました。

いのちつぐ「みとりびと」という4巻セットの写真集があります。

大津市在住の写真家國森康弘さんが、人生の最期をむかえた高齢者を自宅に訪問して在宅医療をささえる東近江市永源寺診療所の花戸貴司さんの日々の医療現場を活写した写真集です。ひ孫さんがひいおばあちゃんのなきがらに頬を寄せてお別れする・・・そんな感動的場面に満ちた写真ばかり。こんな風に旅立てたら幸せだろうな、と思わず共感させてもらいました。今回の講演会には是非とも國森さんと花戸さんをお迎えして、どんな最期をむかえるのが幸せか、ともに考える場をもてたらと企画しました。

子どもたちに平和と愛の大切さを伝えることを目的に開催します。

「新老人の会」3つのモットー

- ① 愛し愛されること ② 創めること ③ 耐えること

1つの使命

子どもたちに平和と愛の大切さを伝えること

日野原重明記念新老人「滋賀の会」世話人代表 嘉田由紀子